

Zenshuji Soto Mission

Bushin

123 South Hewitt St. Los Angeles CA 90012 · Tel (213) 624-8658 · Fax (213) 624-8650 · www.zenshuji.org

April 2009

Number 111



2nd ANNUAL CASINO NIGHT A BIG SUCCESS

Ray Haynes, Felicia Villanueva and their Casino Night Committee had another successful event! The feeling of Las Vegas (well almost) was provided by Georgene Salisbury and Ellen Nagamine. The casino tables fit right into the decor and the dealers had as much fun as we did. They thanked us for a good food and for the great company.

The dinner buffet was fantastic looking and delicious with many dishes donated by the attendees. We had everything from teriyaki chicken, potatoe salad, nasubi (eggplant) casserole, nishime, chow mein, fried rice, kappa maki, seared beef, kung pao, mini egg/turkey/ham sandwiches, mixed vegetables, dip & bread, cupcakes, carrot cake, tea cream puffs, and many more. We want to thank everyone who contributed to our fanatastic buffet. Drinks were served by our veteran duo of Brian & Christine Kimura, assisted by Susie Bubbert.

The game tables were full with new and veteran players. Your favorite game table, whether it be black jack, roulette,

poker or craps, entertained all who attended. If you wanted to learn any of the games, the dealers were nice, polite and willing to teach. The rule at each table was the same: have a good time and smile, smile, smile!

Mrs. Soo Hoo worked very hard all day Friday and Saturday to get the Silent Auction ready. We had a wide variety of beautiful baskets and the beginning price on many were reasonable. There was something for everyone's check book! Many people went home with wonderful home made quilts, appliances value packs, beverage gift baskets, tickets to entertainment parks & theaters, family portraits, and the list goes on and on.

Congratulations to our evening's big winners of the raffle:

- 1st Prize (42" Vizio flat screen) - Isabel Barajas
- 2nd Prize (Blue Ray DVD) - Brian Kimura

Thank yuou for attending our Casino Night and if you missed it, we'll see you next year!



2/21/2009
Casino Night



Myoshin Sensei's Food For Thought



CHIRASHI-SUSHI SALE

MYOSHIN'S FOOD FOR THOUGHT CHIRASHI FUND RAISER

We are taking orders for Chirashi Box Lunch. This Fund Raiser is happening now and each box is \$5.00. Come

and join us on Sunday, April 19, 2009 for the Monthly Service & Memorial @ 11:00am and the beautiful HANAMATSURI SERVICE @ 11:30am. After service your Chirashi Box Lunch will be waiting for you downstairs in the main Social Hall.

REMEMBER: DEADLINE for orders is: Friday, April 10, 2009. Call Rev. Kojima, Rev. Lang at (213) 624-8658 or mail in the order form (sent with membership letter) to Zenshuji. Don't miss this fund raiser. CALL EARLY.

NEW TRASH CANS IN THE RESTROOMS

Mrs. Kaye Soo Hoo purchased new trash cans for our restroom. Those rusty old white ones are gone and replaced by silver ones with a swing lid. Thanks to the Fujinkai organization who funded the project, Mrs. Soo Hoo was able to get 6 new trash cans. Thank you Fujinkai for your generosity and Mrs. Soo Hoo for your ability to find the perfect item. Please take the time to express your appreciation to the members of Fujinkai and Mrs. Soo Hoo.

Ohigan Bake Sale

Thank you for your donation to our Ohigan Bake Sale. Our bakers worked very hard to make sure enjoy the delicious home made items. Thank you to our bakers, Mrs. Nagamine, Mrs. Abe, Georgene Salisbury, Ellen Nagamine, James Monarrez, Janice Quon, Lillian & Betsy Takagi. Ms. Kazuko Urata, and crafts of Ms. June Urata. We hope you enjoy the finger licking good items.

SERVICES, EVENTS & MEETING

April

- LACBF Hanamatsuri Board Meeting April 5th, @JACCC
- Zenshuji Hanamatsuri April 14th, 7:30pm
- Manzanar Pilgrimage April 19th, 11am
- Dr. Kato's Japanese Lecture April 25th,TBD
- April 26th, 10am

May

- Japanese Temple's Meeting May 1-3 @Tassajara
- Board Meeting May 12th,7:30pm
- Fujinkai Meeting May 17th, 10am
- Monthly Service & Memorial May 17th, 11am
- Mother's & Father's Day Luncheon May 17th, noon
- Dr. Kato's English Lecture May 10th, 10am



ダルマ会誕生お祝い

♣ 2月13日（金）午後、秋葉総監は国際センターオフィスで、北アメリカ曹洞禅カンファレンス（3月6日～8日禅宗寺にて開催）の準備会議出席。

今回のカンファレンスは北アメリカの曹洞宗の僧侶にとくに関連する「宗制」を説明することとなった。「香語」についてもレクチャー。

2月15日（日）午前10時婦人会ミーティング。

11時、涅槃会。50人ほどの参拝者があつた。御詠歌奉詠。総監の日本語、明心先生の英語法話があつた。お涅槃の意味についてのお話だった。

12時、ダルマ会ランチオン。武良夫妻、武田夫妻、吉岡典座係は、珍しくホットドッグを用意。久し振りに口にしたりは、おいしね、と頬張っておいりました。

午後、総監、小島、明心先生は引退者ナーシング・ホームに入居している高木メリーさんを見舞つた。

♣ 2月20日（金）夕方、カジノナイト・プリベアレーション。レイ理事や葉柴理事長が中心となつて、寄贈されたラッフル景品を下のホールに列べたり、飾り付け準備など夜遅くまで行つた。

♣ 2月21日（土）カジノナイト開催。

午前7時より、会場となる本堂階下ホールでトランプ模様の薄い黒地のカーテンを壁に張つたり、柱に巻き付けたり、ラッフル抽選景品をステージに陳列（大型TVなどありました）、会場の雰囲気づくりに勤しんだ。レイ、サルスベリ、スーファー、世木各理事が主になつて働きました。

サイレントオークションの商品を食堂に陳列。日校ホールは食堂で、大きな用紙に印刷されたドル札や金貨コインをテ

ーブルの上に置いて、カジノ場のレストランのように飾つた。婦人会の武良夫妻、武田夫妻、吉岡、下沢さんなど料理作り。巻き寿司、サンドウェッチ、チャーメン作り腕をふるつておいりました。

夕方4時ごろより手伝いの人達が多く集まりはじめ、受付準備（松本、ブライアン夫妻）、日校ホールの夕食会の準備。テーブルセットの業者がブラックジャック、ルーレット、ポーカー、クラブテーブルなどを備えていきました。

料理はメンバーの方のポトラックも加わり、多種類のフードが列んだ。

午後6時、カジノナイトに遊びに来た人達の夕食会が始まつた。120人ぐらいの方達でホールは一杯でした。メンバーの人達同士、あちこちで賑やかな話し声、楽しげな笑い声があがつていた。

7時ごろより人々はカジノ場へ移動、各テーブルに人がつきゲームが始まつた。バイヤーは専門の人。あちこちに喚声があがる。サイレントオークションの室では商品の品定めをしていた。

30ドルの申し込みで500ドルのチップ交換札が出され、それを持って各テーブルで気分大きくゲームに打ち興じる。最後にチップ合計をラッフル抽選券に引き換えられる。抽選券が多ければそれだけ当選確率が高くなり、大型TVやプレーヤーなど景品が当たる、という仕組みのカジノナイトゲームでした。大層賑やかで楽しい社交会の晩でした。

午後11時ごろまで続き、修了と同時にサーッと片付けをしました。

♣ 2月22日（日）カジノナイト・クリーンアップ。



午前中、理事の方々が数人みえ、会場飾り付けや、商品片付け、テーブル、椅子片付けなど本堂階下ホール、食堂、日校ホールを旧に戻しました。

カジノナイトの諸準備に尽力された皆様、大変有り難う御座いました。厚く御礼を申し上げます。

♣ 2月24日(火) 午前、仏心発送作業、20人程。本堂正面ホールで楽しい会話を交しての作業でした。

♣ 2月18日～25日 総監は北アメリカの国際布教師、旧伝道教師45名の昨年度活動報告書の点検を行った。

♣ 2月25日(水) 小島、明心先生はカリフォルニア大学・ノースリッジ校・Dr.リーの仏教クラスへ出講。2つのクラスで坐禅実修、禅仏教レクチャーをされた。生徒達は興味深いクラスだったと感想をもらしていた。

♣ 2月28日(土) 午後3時 高木メリー夫人の葬儀が福井葬儀社で執行された。小島、明心先生。メリーさんは長い間、婦人会メンバーとして禅宗寺に尽くして来られました。あの「高木」さんの所へ行き「貴方きたわよ」とおっしゃっておられるのだろうと想います。御冥福を祈ります。

♣ 3月2日(月) 午前10時30分 ロングビーチ仏教会にて、LA仏教連合会月例ミーティングが開催された。小島、明心先生出仕。4月の花祭りの件について話し合われた。

♣ 3月6日(金)～8日(日) 北アメリカ曹洞禅連絡会議が禅宗寺で開催された。出席者僧侶35名。宗務庁より国際課の山下課長が出席された。

♣ 6日(金) 午後4時より総監部(アソシエーション・オブ・ソートーゼン・ブッデイス)の会議があり、昨年の活動報告、会計報告、理事改選などが行われた。

午後7時 総監、山下理事、伊藤書記は曹禅寺理事会に出席。

♣ 7日(土) 午前8時45分より開講諷経、引き続き会議。秋葉総監の挨拶の後、南原主事(国際センター)より曹洞宗の海外僧侶に関する宗制について順序だてた説明。質疑応答があった。(曹洞宗機構、僧侶教師分限規定、各種申告書等についての説明)。夕方7時30分まで活発な意見交換がなされた。

♣ 8日(日) 午前、総監による香語の意義と作り方、使用する法要の種類などについてのレクチャーが行われた。12時閉講諷経にてカンファレンスは終了。

午後3時、山下課長、総監部スタッフと禅宗寺理事との懇談会が開かれた。小島、明心先生、葉柴理事長、武良美代子、レイ理事、武良秀雄顧問が出席、禅宗寺の将来への活動についてなどが話題となった。

カンファレンスの間、武良夫妻、武田夫妻、吉岡さんがリフレッシュメント、昼食作り、味噌汁などのサービスをしてくださいました。お陰様で会議は無事スムーズに進行いたしました。ありがとうございました。

♣ 3月10日(火) 午前、LA仏連花祭りプロシユア、献金お願いの発送作業、禅宗寺維持会費支払いのお願い発送作業。婦人会、ダルマ会の皆さん20人程集まりいただきました。

午前、寺子屋の母子30名はバルボアパークでフィールド・ワークの花見会を開きました。2分咲きぐらいの花見だったが、ポットラックの料理がすばらしく、「花よりダンゴでした」と付き添いに参加された小島先生の評でした。子供達は大喜びではしゃいでいたとのことでした。

3/6~8/2009
Soto Zen Ministers
Conference



わ〜い! 寺子屋



時はいろいろ勉強して
きましたが育児に慣れてき
てしまって忙しさのあま
り手抜きになり、でもこ
こに来ると新しい発見が
あつたりで刺激を受けました。

月に1度の小島先生のお話も楽しみです。今月は達磨さんのお話でしたがここに来ていなかったら知らなかった話です。ここにある大きな達磨さんのお話を子供達にも教えてあげる事が出来ました。それに今月はお母さんの中にプリザーブドフラワーの講師の方がいたので教えて頂く事も出来ました。自分の時間がだんだんなくなっていく中でこの日は素敵なドアリースを子供達がとなりで遊んでいる時に作り完成させる事が出来ました。とても楽しく貴重な時間を過ごすことができました。これも、この禅宗寺がこの場所を提供してくれているお陰です。本当に感謝しています。

寺子屋は親が子供の為にいろいろと考えてみんなで参加するとても素敵な集まりです。これからも楽しみながら盛り上げて行きたいと思います。

ベビー寺子屋 多田広美

私達がベビー寺子屋に入会して1年が過ぎました。日本の文化を覚えておいて欲しいという気持ちと同じ年齢の日本語を

話すお友達を作りたいという気持ちでした。

この子は三女でどうしても姉達の学校の送り迎え、お稽古事などでその場にいる子供達は自分よりも年上の子です。なので欲しいおもちゃがあれば貸してもらえたりわがママが通る環境でした。やはり貸してもらったり貸してあげたりすること、その時の気持ちなど親が教えるのではなく同じ年の子供や自分よりも小さい子供の中に入って学んで欲しかったのです。

実際、ベビー寺子屋にはこの子よりも小さい子供が多くいたので家の中とは大違いです。とても良い体験や経験が出来たと思います。それと私もです。初めての子供を育てている

禅宗寺告知板

4月5日(日) LA仏教連合会「花祭り」がJACCCで開催されます。午後1時より仏連加盟の僧侶による「花祭り」法要があり、午後2時より、UCパークレー校・日本館館長ダンカン・隆賢・ウイリアム教授の「仏教とエコロジー」講演が行われます。ウイリアム教授は曹洞宗の僧侶でもあります。多くの皆様の聴講を期待いたします。

4月19日(日) 午前10時 婦人会ミーティング。
午前11時、禅宗寺花祭り法要。祥月法要、月例礼拝。正午・ダルマ会ランチョン。

禅宗寺の花祭りは日程の都合上、今年は19日(日)に奉修いたします。

4月は花祭り、お釈迦様誕生の月です。誕生日は4月8日とされており、灌仏会を催してお祝いいたします。花々で飾った御堂の中央にベビーブツダ像を安置し、甘茶をおかけして、降誕を祝福いたします。花々の咲き揃う季節にこの世に現れ出たお釈迦様を寿ぐ、美しい仏教行事です。

多くの方々にお釈迦様のパッピーバースディをお祝いしていただきたいと存じます。

お釈迦様誕生の様子が「ニダーナカター」(ブツダゴースという方が書いた)に神話的に描かれています。ダイジェストをして紹介します。

菩薩は白色の優れた象となって、鼻に白蓮華をとり、一声高く吼えた。マーヤー夫人の右脇からその胎内に宿った。

4人の天子の守護のもと、マーヤー夫人は10ヶ月間、菩薩を母胎の中で養育し、月満ちた。

ルンビニーとよぶサーラ樹の遊園があった。木々の花はすべて一色に咲き、蜜蜂や鳥の群れが妙なる音を出して飛び回っていた。

マーヤー夫人はこのサーラ林で憩った。彼女はひときわ立派なサーラ樹の下にゆき、一本の枝を手にとった。すると彼女は産気を催した。お供の者たちは幕をもってマーヤー夫人を囲んだ。彼女はサーラの枝を手にし、立ったままお産をした。仏法の守護神である4人の大梵天は黄金の網で菩薩を受け取った。

菩薩は両手と両足をひろげ、宝珠のごとくに光り輝いて誕生したのであった。

大地の上に立った菩薩は東方に向かって大股に歩き、七歩目に立ち止まり「天上天下・唯我独尊」などの威厳あることばを発して、獅子吼した。

このように、後に偉大な聖者となられたゴータマ・ブツダの出生は、神格化を伴う表現でえがかれています。聖者への敬虔な信仰の心が偉大な人格を讃える文学的表現を産んだのでしょう。

この誕生の産声である「天上天下・唯我独尊」は「われこそは、さとりを開くため、また世の人を利益するために生をうけた者である。自利、利他の実践において欠けるところなき者=ブツダ(覚者)となる身だからこそすぐれているのである」、そういう表明をしていると理解されています。

お釈迦様と同じように私たち一人一人の誕生は、本人はもとより、その両親、周囲の方々にとって、お釈迦様と同じように神話的に貴重な意味をもっています。この

世に生を受け、生きる、そのこと自身が奇跡です。そして、自利=自身の人間としての向上に努め励む、利他=人々のために心を用いる、世の中を利益するために力を尽くす、それが何にもまして優れた身といい、それを実践できるように生まれてきた。誰もが尊いのである。「天上天下・・・」の産声は私たちにそう訴えかけているのです。

花に囲まれたベビーブツダに甘茶をおかけし、お釈迦様のお誕生を祝い、御自身の生をも祝福していただきたいと存じます。

4月25日(土) マンザナ巡礼。

日系の人々にとっては忘却の彼方へ置きざりにしてはならない地のひとつ、マンザナへの巡礼の日です。LA仏連の先生方が参加します。日系先人の方々のご苦勞を偲ぶ慰霊の法要が営まれます。みなさまもぜひご参加いただければ幸甚に存じます。

5月1日(金)～3日(日) 日系寺院連絡協議会。

今年はカーメルバレーの山中にあるタサハラ(祥岳寺)で開催されます。理事の方々が参加されます。

婦人会 だより



◆2月15日 婦人会ミーティング 出席者13名

秋葉総監から2月20日、21日の「カジノナイト」を宜しくと申され、3月6～8日は朝9時より「ミニスターズカンファレンス」があるので料理の差し入れをお願いされました。

小島先生からは「カジノナイト」のチケットは理事の方から購入するようにと申され、経費は\$5とのことでした。

21日の「カジノナイト」には「サイレントオークション」があるそうです。

仏連では旭先生の精進料理の講習会を皆様の希望があれば、催されるそうです。

5月1～3日は、タサハラで日系寺院会議が行われ、4日から5日間は一般の方の禅リトリートがあるそうです。

明心先生から仏心発送は24日の予定ですと、奉仕の要請がありました。

この度、武良美枝子会長から婦人会に金一封の寄付が寄せられました。お心尽くし感謝いたします。ありがとうございました。武良婦人会長から3月の彼岸会に、おはぎを作る事について意見を聞かれ、会員一同の承認を得られ、朝7時から始めましょうとの奉仕の要請がありました。

11時から祥月法要。御詠歌奉詠者8名。

◆3月24日 仏心発送 奉仕者17名。



大志を抱いて (その3)

松本 実

青年隊の最高幹部は建設隊の場合は人事課長であるが、各課長、係長には隊舎生活の事情を細かく説明し、側面的に援助協力を要請すると共に、隊舎での生活を、職場と同じ様に重視して欲しいと説得し、賛意と協力を得た。何分会社では所属の課が違えば特に目立つ者以外は殆ど知らず、従って顔も名前もわからないのが普通であるので、最初の2ヶ月程の間は一体何の因果でこんな事になったのか、寝ても覚めても困窮の限りで、唯一人で涙を飲み込んでいた。しかし「こんな事で怯んでは男が廃る、これが俺に課せられた試練だ、挫けてたまるか」と自問自答しながら、毎日努めて天真爛漫に振る舞い、班長を絶えず自室に呼び、先ず朋友関係をつくることに力を入れ、時には映画に誘い、時には酒を交わし、時には女子社員を交えてハイキング、釣り等を楽しみ、またレコード鑑賞などで心を通わせた。その当時は江戸っ子ではないが宵越しの金は無かった。その内だんだんと隊員の心が融け合い、食事の時など笑い声が絶えないまでになった。

この様な時には説教じみた注意は避け、むしろ皆と一緒に派手に騒ぎ「俺も君達と同じ穴のムジナではないか。俺だって好きな女とデートもしたいがそれも出来ず、酒も煙草も止めてその上、皆の監視に晒されて何処に得るところがあるのか、俺に無理難題を押し付けるなよ」とよく言ったものだ。そうすると一同大きな拍手で受け入れてくれた。

こうなると何を計画しても思い通りになるもので、釣り大会、テニス、バレーボール、ピンポン大会等を開いて、大いに盛り上がり打ち解けあって、指導員というより朋友となり、隊員達



が進んで協力するようになった。やはり自分を気取らず裸で勝負しなければいけないものと自覚し、教えられた。この頃になると隊員も隊舎生活が面白くなり、全体の雰囲気もすっかりやわらかくなり、毎日がとても充実し、やり甲斐が出来てきた。その頃庶務課から石丸君が指導員として入社してきた。時を同じくして満蒙国境のノモンハンでは、思いもかけず突然事変が勃発したので、関東軍よりアルシャンからハイラルまで急遽軍用鉄道を敷設せよと言う命令が満鉄奉天建設事務所に下された。線路課では緊急測量隊を組織し、突貫工事を施工することになった。私もその話を聞き早速課長に測量隊に参加したい旨を申し出た。幸い直ぐ許可が出たので隊舎のことは安心して石丸君に任せ、ノモンハンに向かったのである。

そして6ヶ月後、ノモンハンの緊急測量が無事終わり、11月に奉天の隊舎へ帰還した。

その頃日本では日独伊三国同盟に調印、そして欧州では独伊が戦果を挙げていた。一方支那事変は益々拡大の一途をたどっていた。

翌年5月男の節句(端午)に満鉄青年隊奉天地区では文化祭を盛大に開催した。この日各地区の青年隊の中から奇しくも演劇部門で建設青年隊が一位を獲得した。この催しで建設青年隊の団体行動が、他の青年隊に比べて規則正しく格別立派であったので、出席していた会社の幹部役員の眼に留まり、一躍建設青年隊の名声が広く各地へ知れ渡った。

この日の受賞を期に一層隊員も自信と誇りを持つようになり、生活態度が一段と立派に成った。私もこの事があって以来、広く名を知られる様になった。 つづく

二〇〇九年四月・五月の 法要と行事案内

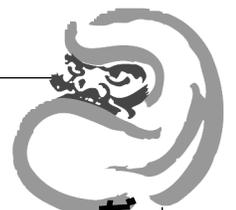
4月

羅府仏教連合会花祭り	4月5日(日)午後1時	
	於: JACCC日本庭園	
理事会	4月14日(火)午後7時半	
婦人会ミーティング	4月19日(日)午前10時	
禅宗寺花祭り	4月19日(日)午前11時	
ゲルマ会	4月19日(日)午前12時	
加藤先生日本語仏教講座	4月26日(日)午前10時	

5月

日系寺院連絡協議会	5月1~3日	於: タサハラ
理事会	5月12日(火)午後7時半	
婦人会ミーティング	5月17日(日)午前10時	
月例法会・祥月法要	5月22日(日)午前11時	
母の日・父の日ランチョン	5月22日(日)正午	
加藤先生日本語仏教講座	5月24日(日)午前10時	

- ◇恋敵 譲ればよかつた今の妻
- ◇うしろ髪 引かれ続けて今の髪
- ◇足のつめ 切ろうとするが腹が邪魔
- ◇盆栽に 余生を託す 八十路
- ◇ベーターベン 聴いた胎児が音痴とは
- ◇メモ帳の しまい場所にもメモがいる
- ◇子育てを 終えて豊かな腰まわり
- ◇「お久しぶり」冠婚葬祭 出合いの場
- ◇生と死に 何が違うかイスラム教
- ◇爪を切る いつまで伸びるいとしさよ
- ◇大不況 妻のヘソクリ当てにして
- ◇支援金 群がる首脳アリのごと
- ◇皆保険なし 病気あの世界で治す国
- ◇説教を 聞く人説く人凡夫の世



だるま川柳

川柳はストレス解消はもちろん、脳のトレーニング、身心の健康のためにも、仏心読者の皆さんと自由題で句を作り楽しみませんか。毎月の第一週までに作句され、小島先生宛に投句して下さい。

春爛漫

総監 秋葉玄吾

「平常心」とはどういうことかと訊ねられました。四月はお釈迦様誕生の月ですが、仏陀の教えの道を歩むとはどういうことなのか、少し語ります。

禅語の「平常心是道」を取り上げたエピソードがあります。

中国・唐の時代の南泉和尚と趙州和尚の問答です。趙州は質問した。

「仏の道とはどういうものですか？」

南泉は答えた。

「平常の心で生きる、それこそが仏の道だ」

「それなら、あえてそのような道を求める必要があるのでしょうか？」

「そうだ、求める必要はない。求めようとすると、道を誤ることになる。」

「では求めようとしなければ、それが仏の道だと、どうして判るのですか？」

「仏の道」は、判るとか判らないとかというようなものではない。判ったらそれは妄想だ。でも、判らなかつたら何にもならない。もし本当に「もう何も疑わない」という心が定まつたら、どうという事はない。判るとか判らないとかではない。趙州はこの言葉聞いて心は朗月のごとく輝いた。

という内容の会話です。この「平常心」ということを多くの祖師方は論じています。ある方は「道は修するまでもない。ただ汚染さえしなければよいのだ」とまで断じています。

お釈迦様のダンマパダに、「心は、動揺し、ざわめき、護り難く、制し難い」だから「一つのものに心を集中し、道理を正しく観じ、ひるむことなく、善いことがらを修するならば、世の中にあつて、汚れない喜び、楽しみを知る」とあります。

道はいつでも、足の下に広がっている。そのことに気付くのは、「心がざわめく」ときです。つまり「汚染」したとき、はじめて人は皆、道の上にいることに変わりないと、心を定めて、迷いやひとつの想



いを和合し、良く生きようと励むものです。そんな広々とした道をひたすら、何気なく歩む生活を平常心というのでしよう。

特別に素晴らしいことは何か、と人は求めます。道元禅師様は、人知れずどかっと坐る坐禅もそうだが、人のすこやかな「喫茶喫飯打眠」のいとなみは、お釈迦さまの教えに通じていると、明らかに学びとることが活きた道なのだと言います。人は飯を喫し眠らなければなりません。平常な「原点のいのち」が何にもまして素晴らしい働きをします。坐禅がそのことを教えます。そして、「いのちの原点」に気付くと、人は「他のために力を尽くす」ことに無常の喜びを覚えるようになるのです。

昨年（平成二十年二月）百八歳の長寿を全うされ遷化された宮崎禅師様はしばしば申しておられました。「一息の間に天地乾坤を容れた命があるのぢや、その命は何物にも染まつていない。その滞りのない連続が私達の生命なのだ。坐禅は一息の間に安住することぢや」と。

現在欧米では曹洞の禅が盛んに展開されています。北アメリカには二百五十以上の禅センター、三百以上の僧侶が産まれ、一般の人とともに両組様の教えを行っています。両組様の普遍的な教えが、新しい相貌を備えて立ち現れることに私は驚きを感じたりしています。

「いきを吸う、あなたはあなた自身に気づく、いきを吐く、あなたはあなた自身にほほえむ、いきを吸い、いきを吐く、その間にあなた自身の本当の家がある。そのとき、そのとき、あなたは憩い、いのちは輝く」

といった英語の表現は、宮崎禅師様の『一息の間ぢや』という表現と呼応していて、現代人に受け入れ易い坐禅を説く感覚を備えている、と思ったりしています。

「普段の在りようが坐禅なのだ」というのが禅の大乗的な教えなのです。

四月、百花繚乱ひゃくかりょうらんの季節です。皆さまも「おのが生命」を曇りなく精一杯輝かせて、お過ごしされますよう祈ります。